

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 開催日時

令和7年5月1日（木） 13:30～14:30

2 会場

高田高校会議室

3 会の内容

(1) 開会

(2) 校長挨拶

今年度の学校運営協議会ですが、昨年度の様子について総括し、その後令和7年度の学校経営計画や方向性についてご議論していただく。活発なご質問を、ご意見いただければ幸いです。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

(3) 出席者自己紹介

会長・副会長の選出について

○副校長

協議事項については、会長が進行することとなっている。要項の9条に委員の互選により選出するとあるが、いかがか。

○委員

事務局案でお願いしたい。

全員から賛同をいただいた

○議長

皆様のご協力をいただきながら進めてまいりたい。活発なご意見を頂戴したい。

(4) 協議

(ア) 令和6年度における学校運営について

○副校長

令和6年度の学校経営計画をもとに学校運営を行ってきた。特色ある教育活動をいくつか紹介したい。

国際理解に関する活動で、昨年6月20日～6月27日までの約1週間、姉妹校であるデルノーテ高校から生徒4名、教員1名、教育委員会1名の6名が来校し、生徒と交流した。授業や体育祭への参加など、本校生徒とともに学校生活を満喫した。また1月5日～1月12日までの約1週間は、陸前高田市の支援のもと、本校生徒9名と教員2名がデルノーテ高校を訪れ、デルノーテ高校の生徒と交流を深めた。参加した生徒は大いに見聞を広めることができた。成果報告会は、学校内だけでなく、2月にコミュニティーセンターで市民向け報告会としても実施した。今年度は、8月にシン

ガポールへの生徒派遣、1月にデルノータ高校への生徒派遣、2月にデルノータ高校からの生徒受け入れを予定している。

高大連携は、2年生の総合的な探究の時間で行っている。本校2年生が、4月下旬から立教大学の学生にオンラインで指導していただきながら、地域の課題等について班ごとに調査を行い、発表するというプロジェクトである。昨年度は8月29日～9月1日にかけて、立教大学の学生に直接本校に来ていただき、9月1日に一本松ホールで発表会、アバッセでポスターセッションを行った。今年度もこのプロジェクトを行う計画となっている。

続いて、T×ACTION PROJECTについて。こちらは1年生の総合的な探究の時間に行われる事業である。生徒の興味や将来の進路から3つの班に分かれて、それぞれの分野で学習を進めた。3月3日に本校で発表会を開催した。今年度も実施する。

次に震災学習について。3月10日に東日本大震災メモリアル行事が行われた。学生時代に防災リュックの開発などで活発に活動した本校の卒業生を講師に招き、当時の貴重な体験談や現在の活動などの話を聞き、防災意識の向上を図った。また、京都工学院高校との防災教育活動では、違う地域や環境で生活する生徒と防災・減災教育を通じて交流し、お互いが地域の街づくりに参画できるような人材の育成を目指して行った。昨年度は7月23日に京都工学院高校の生徒が陸前高田市を訪れた。今年度も7月下旬に訪れる予定である。

続いて、海洋システム科について。海洋システム科も6次産業化を見据えて幅広く水産に関する学習を行っている。学校内だけではなく、地域の方々のお力を借りて、実践的活動を多く取り入れている。小学生に対する水産教室は、高校生が先生役となり、小学生にかまぼこづくりを教えている。昨年度は市内6校の小学校が参加した。今年度も6校参加予定となっている。パン作り指導では、保育を進路希望としている生徒が保育実習をする傍ら、母親を対象に行っている。地域の大人と接することで、コミュニケーション能力を高めている。地域連携避難訓練は、広田小学校の児童と保護者、広田の地域住民、市の防災課が参加する一大イベントとなっている。最初に参加者全員で大野海岸の清掃活動を行い、その後、防災無線を使って避難訓練を行った。その際、小学生の避難誘導を高校生が担当した。その他、さまざまな実習を行っている。6月にはカゴ網実習、10月にはイカ釣り実習、年間を通してカキの養殖実習など行った。今年度も地域の方々の力を借りて、実践的活動を数多く取り入れたい。

最後に地元との関わりについて。毎年、市内・管内の企業の協力のもと、多くの生徒がインターンシップを体験している。また、本校は可能な限り地域ボランティアの依頼を受け入れており、例年、多数の生徒がボランティアに参加している。今年度はすでに氷上山の刈り払いアルバイトにも参加した。4月末にはサンファーム小友で「タマネギ畑除草作業体験」を行った。

令和6年度実績における特記事項について。昨年度の第2回学校運営協議会でも

示したものである。それ以降で、顕著な活躍があったので報告させていただく。卓球部だが、3月に全国高等学校選抜卓球大会が岡山で行われ、本校の選手が女子シングルスで準優勝を成し遂げた。

本校卒業生の最終的な進路状況について。約8割が進学、2割が就職となっている。

最後に、昨年度の学校経営計画に係る達成指標の達成状況について。昨年度の第2回学校運営協議会で協議していただいた結果を基にまとめ、県に報告した。

○議長

ただいま、令和6年度の学校運営計画について質問等ないか。

○委員【質問】

指標の達成状況の最後のところにだけ×がついていて、いじめがなくて安心して落ち着いた学校生活を送っていると答えた生徒が69.6%ということで、やや少ない。逆に30%近くの生徒が落ち着いていないと回答したと読めてしまう。アンケートではこういう数字であるが、実際の感触とか日頃の中で何か先生たちが感じられていることがあるか。

○副校長【回答】

一昨年、90パーセントを超える数値であったが、昨年度に関して70パーセントぐらいであった。考えられる理由としては、昨年度起きたいじめ案件で、加害者が誰かわからないという事案が数件あった。各クラスでの呼びかけや全校集会での呼びかけなど、生徒に対して呼びかけることがあり、全然いじめとは関係ない生徒も、うちの学校はいじめがあるのだという認識が高まったことが1つ原因として考えられる。

○委員【質問】

複数いじめ事案があったという話だったが、学年で見た時に、例えば1年生が多いとか、幼さからくる事案とか、何か特徴的なところがあれば、教えていただきたい。

○副校長【回答】

特に学年としてこの学年が多かったことはなく、いじめは各学年であった。特徴としては、人間関係のもつれ、直接陰口を言われるわけではなく、陰口を聞いた第三者から、あの人がこんなことを言っていたよということを聞き、辛くなっていじめだと訴えるようなものも多かった。SNS関係の事案も1件あった。

○校長【補足】

いじめ問題に関しては、一生懸命やっている学校である。人間関係のトラブルが起これば、大体いじめに認知できるので、この定義で積極的にやっている。特色ある教育活動の中に入っていないが、4月の初めに1年生と2年生の生徒を対象に「人とのつながりワーク」を実施した。令和4年度から始めたもので、同じ趣味が合う人とか、みんなで盛り上がり自己開示して、仲良くなっていく活動をしている。令和5年度

からは1年生で行い、2年生も引き続き行うという形で行い現在に至っている。本校noteの記事の中にあるので、生徒の笑顔溢れる様子をご覧になっていただきたい。

○委員【感想】

本校も1, 2, 3年で見たとき、1年生がいろいろな学校から集まってくる。幼さからくる仲間外れやいじめがありがちである。運動会が終わってからの5月6月位が注意と思っている。今お話しがあった積極的な形の取組が参考になった。

○委員【質問】

今でも、応援歌練習、クラブ勧誘の活動はあるのか。

○生徒指導主事【回答】

応援歌練習は昼休みに短時間で実施している。今年度は応援歌とエールを紹介するということに重きを置いて行った。部活の勧誘に関しては、対面式の部紹介で、各部の代表の生徒に、各部の紹介や勧誘する機会を与えている。

○議長

令和6年度における実績について、承認頂ける方は拍手をお願いしたい。

令和6年度における実績が承認された。

○議長

令和7年度における学校経営計画について説明をお願いしたい。

○校長

令和7年度の学校経営計画は基本的に令和6年度と変わらない。今年度の重点目標の達成指標の中に、「学校評価において」と書き加え、達成指標の数値が何を元に行っているのかとわかりやすくした。先ほどご指摘があったいじめ問題に関して、昨年度は達成割合が約7割しかなかったが、90パーセント以上という達成指標にしている。ご審議をお願いしたい。

○議長

令和7年度における学校経営計画についての説明があった。この件に関して、皆様からご質問ご意見を頂戴したい。

○委員【感想】

たくさんの教育活動が行われていて、異文化体験もあり地域を知ることもあり、本当に良い活動をたくさんされているなど感心している。

○委員【感想】

海洋システム科の関係である。地球温暖化で海水温の上昇で、この辺でとれる魚の種類が変わってきている現状がある。地元で馴染みのない魚は未利用魚として扱われて、値段がつかない。未利用魚を有効利用するような取組を、先進的な研究や活動

でやっていたいただけたらいいと思った。

○議長

海洋システム科で何かあるか。

○海洋システム科主任

水産振興センター経由で、暖水系の魚の利用について手伝ってほしいとの話があり、昨年末からそれに向けた打ち合わせを2回ほど行っている。漁協の方でその予算申請に関わる書類ができてからというところだった。それが決まり次第動き出すものと思う。

○委員【質問】

高田高校では、国際交流や国際教養大学への取組があり、グローバルな人材育成ということが書かれている。外国語教育や国際交流といった部分で、今後の学校のあり方を見据えた動きや取組は、具体的に始まっているのか。

○校長【回答】

今のところは、特にはない。普通科、海洋システム科と2つあり、どちらも、英語検定の積極的な応募、資格取得を充実させたい。陸前高田市との関係で、協議等も進めていく必要があると思う。今、本校としては、特に何かということはない。

○委員【質問】

デルノータ高校への派遣で、例えば行ったことによって、参加者の進路で何か変化があったようなことがあったか。

○企画情報課主任【回答】

2月に報告会を行った。1，2年生が本校に在籍中に、これから国際に関わった探究をしていきたい、これからの進路先の検討に役立てていきたいと言っている。3年生が1名参加したが、この生徒はデルノータの生徒を受け入れた。進学クラスではなかったが、デルノータの生徒と積極的に関わったという点で、新たに自分の可能性が広がった。一市民として一個人として外国の方々と触れ合う経験が、これから生かせるという感想を語っていた。

○委員【補足】

娘が、この3月に高田高校を卒業したが、2年生の時にシンガポールに連れて行っていただいた。行くまで目指していた進路が、帰ってきてから、全く違う仕事を目指すということが実際にあった。さまざまな形で、影響はあるのだろう。

○議長

令和7度学校経計画について、承認をいただける方は、拍手をお願いしたい。

原案の通り承認された

○議長

令和7年における特色ある教育活動について説明をお願いしたい。

○副校長

今年度も地域の協力と支援をいただきながら、昨年度と同様に特色ある教育活動を実施して参りたい。活動名の後にあるカッコ内が対象生徒となる。普通科の文Bと理系コースの3年生は、進路活動が優先となるので、主に1、2年生が主体となっている。昨年度との相違点は、7月下旬にシンガポールへの生徒派遣、12月中旬に海外津波博物館との交流がある。デルノーテ高校との交流に関しては、今までは隔年で生徒の派遣と受け入れを行っていたが、今年度から毎年生徒の派遣と受け入れを行うこととなっている。

○議長

この点に関して、皆さんからご質問、ご意見を頂戴したい。

○委員【質問】

今後子供の数が減っていく中で、高田高校を選んでもらえるような、近いから入る選ばれ方ではなく、高田高校だからというところが一番大きい特色ととらえる必要があると考える。これについては、学校だけでどうこうというものではないが、地元にある民間事業者、行政との協力体制というのは、一番大きいと思う。そういった時に、どこが先導してやると構築していきやすいのだろうと思っている。そのためこの運営協議会であるのかもしれない。そのあたりについての考えもあればお願いしたい。

○校長【回答】

連携を様々な方々と図ってもらい、やっていく時に、主体は学校にならざるを得ない。本校は、海洋システム科を入れて4学級の学校で、6、7クラスあるような学校とは規模が違うため、教員の数が少ない問題がある。学校で一生懸命やっていると、人数が多ければ負担を分担しやすいが、少ないと、限界に来ているというところもある。そのため、業務の外注化ということを図らないと、様々なことは出来ない。その部分で、関係の皆様にも頼っているところもある。本校の企画情報課が窓口になっているが、刈払いアルバイト、高田松原の清掃活動、アルバイトやボランティア、立教大学に支援いただいている高大連携の教育活動等、かなり外注的な形になっている。だからこそ、上手くいっているところがある。どこが中心かということ、学校であるだろうが、どうすればいいかというところが、ちょっと見えないところは、正直ある。逆にこれが陸前高田市に、全部お任せして中心となってしまうと、学校が置いていかれる。あれやって、これやってではパンクしてしまうこともある。連携のあり方は非常に難しいと思っている。コミュニティースクールが始まったのは、そういう状態の中で、連携してやれるようにということなので、この機会の1つのものとして、ご意見いただきながら、役割分担というものも、決めることができいくといいと思っている。

る。

○委員【質問】

3月9日の東日本大震災メモリアル行事について、どういうものを想定して、毎年やっているものなのか。

○企画情報課主任【回答】

一昨年までであれば、地域で防災や震災後の復興関連に取り組んでいる方を招いて震災当時のことを振り返る取組を行ってきた。昨年からは、震災を体験した卒業生を招いて話を聞くとともに、防災意識を高める取組をしている。

○委員【感想】

この3月、3.11を毎年迎えるにあたって、小学校も中学校どの学校もどういうふうに、3.11を迎えるかということを毎年毎年考えなければならない。14年経って、小学校は無理にしても、中学生と高校生が一緒になった形で、追悼行事でできることがないかと感じている。今の高校1年生の子たちが、本校の3年生の時に鎮魂の歌をかなり練習して、9月下旬に一本松ホールで、本校の生徒が披露した。最初は難しいかなと思ったが、何回も何回も、聴いたり、練習したりする中で、いい曲だな、ずっと残したいなと思い始めて、中学生、高校生が一緒になって。3.11を迎えるにあたって、一緒に歌うような機会が将来的にあっても、いいかなと、私見だが考えている。

○議長

7年度における特色ある教育活動について承認をいただける方は、拍手をお願いしたい。

原案の通り承認された

○議長

その他について、皆さんの方から、何かありましたらお願いしたい。

○委員【感想】

高田一中のコーディネートをさせていただいているので、中学と高校で何か連携ができることがないかということも、ぜひ考えていければと思っている。たくさんのイベントがある学校は、本当に少ないなと思っている。そこを活かしていけるようにして行きたいと思っている。

○委員【質問】

昨年はあったけれども、今年はクラブ活動が成り立たないクラブがあるのか。もしくは去年は人が少なくてできなかったが、今年は復活できそうなクラブがあるのか。もし分かれば、伺いたい。

○校長【回答】

水泳部が、今3年生だけである。相模原の交流活動をし、いい活動をしているが。

3年生だけで厳しい。同好会でJRCは部員がいない。部の数が、本校の規模にしては多い。どの部も本当にどうなるかわからないところもある。

議長

それでは、以上で協議を終了する。

(5) その他

○副校長

第2回の学校運営協議会は、2月中旬を予定している。近くなったら、日程の調整をさせていただく。本日の報酬と旅費は、後日口座振り込みとさせていただく。